

2023年1月18日(水)

『 ガバナー補佐訪問 』

国際ロータリー第2630地区

ガバナー補佐 深貝 一仁 様

早いもので今年度も下半期に入りました。半年前の今期第一回目のクラブ訪問の時には、大変緊張をしてこの場に立っていたことを思い出しております。

上半期を簡単にふり返ってみます。7月には、第一回目のクラブ訪問をさせていただきました。実際にクラブ訪問という形でお話を伺いますと、各クラブには

それぞれの歴史があり個性を持ってみえるということ。また、クラブそれぞれの課題に対し、工夫、努力をしてみえるということを改めて勉強させていただきました。

7月30日には、I.M.&ガバナー公式訪問合同例会を開催いたしました。会員皆様方のご協力により、無事所期の目的は果たせたのではないかと思います。ありがとうございました。対面での準備だけをしておりましたが、コロナ感染の急拡大で急遽ハイブリッド形式にせざるを得なかったことについては、少し残念な気持ちもあります。

今期、最もメインになる事業は地区大会です。主管は岐阜RCさん。三年ぶりの開催、十四年ぶりの地元岐阜Aグループでの開催ということで、コロナ禍の影響で多少制約もありましたが、岐阜RCさんの周到な準備の下で実のある大会にさせていただきました。

地区大会について、個人的な感想として一つだけ述べさせていただきます。二日目、式典最後の「ガバナー謝辞」のときです。ガバナーが話の途中で一瞬言葉に詰まられた場面がありました。我々では思いも及ばないいろんな思いが込み上げてきたのだらうと思います。地区大会の重みを改めて考えさせられる場面でした。

11月3日には、ポリオチャリティゴルフ予選会、11月5日には、ぎふ信長まつりの会場において、ポリオ街頭募金活動を行いました。両日共、雲一つない好天に恵まれ会員の皆様のご協力の下、全て予定通り行うことができました。

岐阜北RCさんにおかれましては、青少年奉仕委員会ご担当の「第31回岐阜北ロータリーカップ バレーボール大会」を昨年の秋に開催されました。また、福祉施設・若松学園への奉仕活動。共に大変長い歴史のある意義ある活動だと思います。

その他、岐阜城北高校インターアクトへの助成、支援活動等々、地域社会に根差したいくつかの奉仕活動も着実に進めてみえます。また、内的には今期2回のオープン例会を予定され、同じ志を持つ仲間を増やすことにもご努力されてみえます。その他、計画された各事業に対してクラブ全員で真摯に取り組まれている姿は貴重だと思います。

今期あと6ヶ月ほどになりましたが、よろしく願いいたします。

